



【桑原小学校】

＜第6学年：未来へはばたけ 桑原お仕事キッズニア＞



2日間で20職種34名を講師として招き、一人四つの職種について体験活動を行った。昨年度よりも1職種増やし、子どもの希望に寄り添える形となった。体験する職業について理解を深めることをめあてに、事前に積極的な調べ学習を行った。体験活動では、実際に職業に携わる方から、仕事の様子を実演して見せていただいたり、体験させていただいたりした。どの講師も、いろいろな苦労や挫折を乗り越えて今の立場があることや、様々な資格を取得して責任感を持って取り組んでいることなどを知り、より実感を伴った理解となった。仕事に対して、これまでは漠然とした夢であったが、この体験活動がそれぞれの自分の将来の夢について、より深く考えるきっかけとなった。

＜第4学年：桑原のやさしさを見付けよう・広げよう＞



「桑原地区は優しいまちか？」という投げ掛けからスタートした今回の取組。子どもたちの考える「優しいまち」とは、「みんなが幸せになれるまち」であった。そこで、高齢の方や障がいのある方など様々な立場の人の気持ちに迫るため、「車椅子」「点字」「ガイドヘルプ」「手話」「高齢者疑似体験」の五つのグループに分かれて福祉体験活動を行った。当事者の話を聞いたり、直接体験をしたりすることを通して、子どもたちは、介助やコミュニケーションの技法を知るだけでなく、様々な立場の人の思いや願いを知ることができた。また、講師の考え方や生き方に感動し、自己の生き方を振り返ることができた。そして、「優しい桑原のまち」を目指して、自分にできることを考えて実践しようとする子どもたちの姿が見られた。